

Date:2020/8/25



石川工業高等専門学校先生の先生、学生が 利賀ダムの工事現場を見学



令和2年8月20日(木)に石川工業高等専門学校の環境都市工学科4年生の学生5名と先生2名が利賀ダムの工事現場を見学しました。この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として現場を通じて、建設界の魅力を学生に伝えるものです。

今回の見学会の内容は、①ダムサイト(右岸)調査横坑観察、②利賀川護岸整備他工事の施工現場、③利賀トンネル(河床進入)工事の施工現場です。

調査横坑とは人が立って歩けるほどの大きさで、岩盤の種類や固さ、断層の入り方、地下水の位置や状態を調べて、ダムの基礎岩盤としてふさわしいかどうか調査するためのものです。

調査横坑まではモノレールを使って移動しましたが、学生たちは初めて乗るモノレールに興奮しているようでした。



調査横坑内では、ダムの基礎岩盤の特性を捉えるために行った試験の跡を見学し、坑壁をハンマーで叩いてもらい、ダムが建設される岩盤の硬度を肌で感じてもらいました。



※新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用を徹底して見学会を行いました。



利賀川護岸整備他工事では、起工測量や施工などに「ICT技術」を活用されている現場を見学しました。学生、先生共に最新のICT技術に興味津々で、施工業者である竹沢建設(株)の担当者の方に、ICTについてたくさんの質問をしている様子が見られました。



↑
マシンコントロール
バックホウ

エレクター付吹付機→



利賀トンネル(河床進入)工事では、トンネルの掘削現場を見学しました。岩盤に孔を掘るドリルジャンボや切羽にコンクリートを吹き付ける吹付機、大型ブレーカーなどの大型重機が稼働しており、トンネル工事の規模の大きさに圧倒されました。トンネル工事を間近で見学することができ、良い経験になったと思います。

学生の感想

- ・トンネル工事の実際に施工している現場を見ることができてよかった。
- ・調査横坑を見学することができ、貴重な体験をさせてもらった。
- ・一つのダムを作るためにたくさんの企業が協力していることを肌で感じられた。

